増地氏城(別名無)(指定無)(伊賀市島ヶ原中村)

城跡は三重県伊賀市島ヶ原中村にあって、ルート図の如くＪＲ関西本線「島ヶ原駅」を目指せば分かり易い。駅に到達すれば北東側の踏み切りを超えて正月堂側へ向いて少し北上すれば峠付近左手に休憩所が見えてくるが、そこを進入口として山道に任せれば自ずと副郭土塁空堀道を通過して主郭虎口まで辿り着く事が出来る。

在地士豪の一人である増地氏の居城を伝えるが詳細は不明。

状(二月)城跡は冬季にも拘らず副郭は踏み入る隙間のないほどの矢竹雑木藪となっており、背後を巡る大土塁及び櫓台を除いては当然郭内の視認による遺構確認、郭形状の確認はほぼ無理、

現主郭は比較的ましではあり方形郭三方を巡る土塁などは鬱蒼とした郭内からでも充分確認出来る状態にある。一際高い方形櫓台上は笹藪地でもあり広さを体感する程度、周囲を囲む空堀も矢竹で一部を外見から覗ける程度の状況でもある。小規模な主郭背後には堀切が土橋を伴って残存しており、主郭方形櫓台と並んで城跡の見所ともなっている。他の伊賀の城跡よりは幾分高所に位

置する事からも高さのある巨大土塁はお目にかかれないが、副郭は主郭の南斜面下側に位置しており変則的な縄張りは中々味があって面白く感じられた。尚、堀切を越えた山上側には古い石積み

で内壁が囲まれた小さな郭跡が確認出来たが、当時の遺構か近世のものかの判断は非常に難しいものがある。主郭南側及び副郭南側は現状凄まじい雑木藪地となっているので踏み入ることも外見を覗く事も出来なかったが、地形から考察しても南側は郭の展開は予想される場所でもあり、城

域も現在見て回る事が出来た狭い範囲からは、相当出ている様には感じられた。

状から察するには城跡の夏季訪問は相当厳しいものがありそうに思えるが、主郭のみと割り切れば道路沿いから５分程度で到達出来るので充分納得した見学が出来るのではないだろうか。(個人

現所有の城山とも見受けられ、恐らくこれからも城跡が良い方向に改善されるとは思われ難い)

「山城賛歌」サイトブログによる

　島ヶ原駅の北側にあり、道路を挟んで菊岡氏城と相対している

土塁、郭、空堀が残る、

上の城と下の城とありかなり広い、下の城は高い土塁に囲まれた郭(現在杉林)を有する

上の城の高所に増地氏城跡の標識あり、近くに石積みが残っているが、一見倉庫のようだが？であった。

伊賀の乱で信長に降伏した

「思い出のメモ」ブログによる